



平成 29 年度 坂小学校区
第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ



10月12日(木)に開催された「平成29年度坂小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。(三島市のホームページにも掲載しています)

■開催概要■

日時	平成29年10月12日(木) 19:00~20:45		
会場	坂公民館		
参加団体 (26名)	台崎町内会 元山中自治会 市山新田自治会 三ツ谷自治会 笹原自治会 山中自治会	坂幼稚園 坂幼稚園PTA 坂小学校 坂小学校PTA 錦田中学校	坂小学校支援地域本部 スポーツ推進員 体育振興会 消防団第13分団 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の取組み事例紹介」
- 3 「地域の情報を共有しよう」
- 4 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 5 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報共有」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

○「小学校区の年間スケジュール表」について

同じ小学校区内で活動する団体の行事や活動の予定等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の年間スケジュール表を作成しています。第2回連絡会では、第1回連絡会后にいただいた予定等も追加して、参加者に配布しています。

■主な情報共有の内容

団体	情報の概要
山中自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化が進行しており、75歳以上の高齢者が20人います。 ・ 2年前、十数年ぶりに小学生が誕生しました。その子たちは、笹原の子ども会に入会させてもらっています。 ・ コミュニティを大切にしていきたいと考えています。
坂幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/2に、創立50周年の記念式典を開催します。学芸会やお食事会をやるので、ぜひご参加ください。 ・ 皆さんにご協力いただき、創立50周年の記念誌も作成中です。
坂幼稚園 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベルマークの回収を行っています。今後ご協力ください。
坂小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校ゼロの学校です。 ・ 11/5に、箱根の里まつりに参加し、さつまいもの販売など行います。ぜひ、お越しください。
坂小学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/26に第2回目の廃品回収を実施します。 ・ 坂地区健全育成会で、12/16に小学生対象のボウリング大会を企画しています。小学生はぜひ参加してください！
錦田中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒を様々な場面で地域に取り入れてくださって、ありがとうございます。 ・ 10/27に、豊かな心を育てる会講演会を開催します。今回は、沼津港深海水族館の館長に話をさせていただきます。地域の皆さんもぜひご参加ください。 ・ 11/3の13:30からPTAのバザーを開催します。中学校の農園で育てた野菜なども販売します。ぜひお越しください。 ・ 常に古紙等を回収するコーナーを設置しました。ぜひご協力ください。
坂小学校支援地域本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に小学校の農園の手伝いをしています。8月頃までとうもろこしやスイカ、今の季節はブロッコリーや大根を育てています。広い農園で大変ですが、がんばっています。
消防団第13分団	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間のパトロールが始まります。ご了承ください。 ・ 11/5の10:00から三島消防署で消防フェアを開催します。来てください！
三島市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三島市から受託し、「生活支援コーディネーター」の役割を担っています。 ・ 高齢者のサロン等の“居場所”づくりに力を入れています。 ・ 地域の困りごとの相談も受け付けますので、お気軽にご相談ください。

■小学校区の年間スケジュール表の追加・修正内容

日にち	団体名	行事・活動等
11月5日	消防団第13分団	■消防フェア（10:00～／@三島消防署）



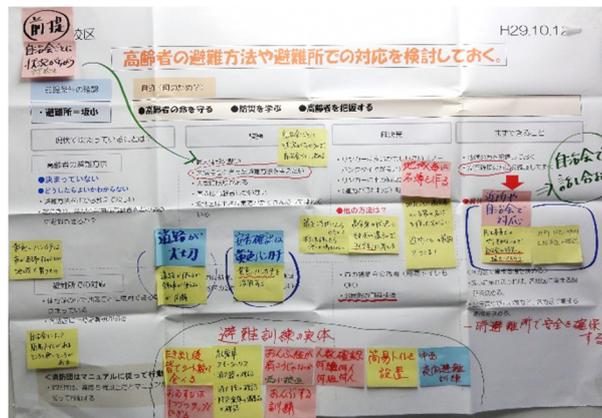
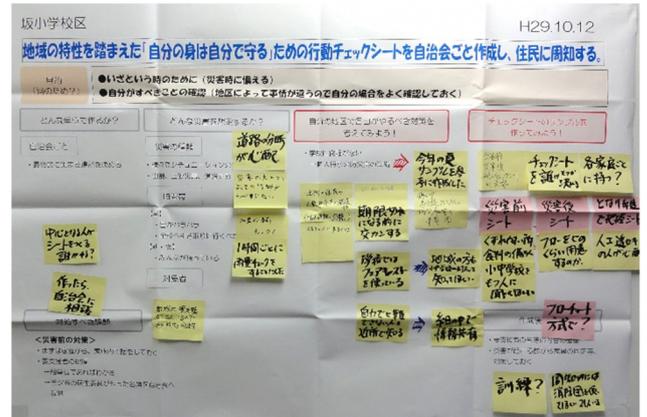
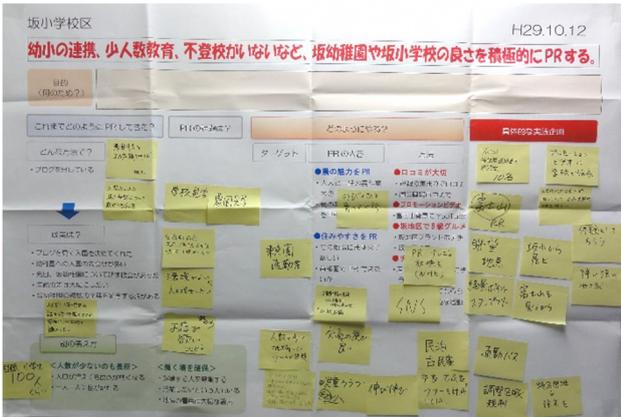
「計画案で実践できることを考えよう！」のまとめ

■旗揚げアンケートの結果

「きずながつくる協働の取組み計画案」に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みの中から、参加者自身が話し合いたいテーマを旗揚げアンケート方式で把握しました。

	幼小の連携、少人数教育、不登校がないなど、坂幼稚園や坂小学校の良さを積極的にPRする。	7
	地域の特性を踏まえた「自分の身は自分で守る」ための行動チェックシートを自治会ごと作成し、住民に周知する。	7
	高齢者の避難方法や避難所での対応を検討しておく。	9

その後、選択したテーマごとにグループを作り、第1回連絡会の意見を踏まえて、グループ別に意見交換を行いました。各グループの意見のまとめは、次ページ以降に整理します。



幼小の連携、少人数教育、不登校がないなど、坂幼稚園や坂小学校の良さを積極的にPRする。

これまでのPR	PRの課題は？	どのようにやる？	具体的な実践企画
<p>どんな方法で？</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブログを出している • 農園作業を JA 広報を呼んだ(坂小) • 広報みしまに坂小の特認校のことについて載せてもらった • 学校見学 • 農園見学 <p>↓</p> <p>成果は？</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブログを見て入園を決めてくれた • 幼稚園への入園の問合せが多い • 先日、坂幼稚園について話す機会があった • 年齢の差は大切にしたい • 坂幼稚園の複数の学年を統合する話がある • 以前坂地区の話をした他園のママが笹原に土地を購入した 	<p>PRの課題は？</p> <ul style="list-style-type: none"> • 台崎町内会は現在5年1名、6年1名の2名しか子どもがいない • 環境が良いので人を増やしたい • 学区内にお店が欲しい。コンビニ • 人数が少ない。地域として少ないのが課題 • 少子化は深刻。山名地区は単独で子ども会を構成できない。現状は隣の笹原子ども会の仲間に加えて貰っている。 	<p>どのようにやる？</p> <p>ターゲット 東京圏通勤者</p> <p>PRの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農の魅力をPR <ul style="list-style-type: none"> • 大人と一緒にの農作業大切 • 農のある地域の良さをPR ● 住みやすさをPR <ul style="list-style-type: none"> • この地域にまず来て欲しい • 首都圏でPRできないか • 交通の便が良い • 絆が強い地域 ● のびのびと子育てできる <ul style="list-style-type: none"> • のびのびと育つよい所 • H30 年度より三歳児保育の実施。(児童クラブ受入れ可) • 「みしまめ」投稿 • 児童クラブで幼小連携している ● 景観が良い <ul style="list-style-type: none"> • 富士山をPRする • 眺望地点 	<p>具体的な実践企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校をきっかけにしたPR <ul style="list-style-type: none"> • 11/16 に特認校説明会を行う予定。10名参加予定 • プロモーションビデオを学校で作成 ● 景観を活かした企画 <ul style="list-style-type: none"> • 坂小から屋上 • 体験をしてもらう • 絶景ポイントスタンプラリー • 富士山を見ながら ● PR以外の対策 <ul style="list-style-type: none"> • 通勤バス • 工業用地が出来たとき、特認として、会社通勤時子供を坂小へ • 調整区域規制 <p>也→住宅をつくる</p>
<p>目標は、小学生約 100 人</p> <p>別の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <人数が少ないのも長所> <ul style="list-style-type: none"> • 人口が増えても良さが無くなる • 一人一人に目が配れる <働く場を確保> <ul style="list-style-type: none"> • 起業する人を募集する • 起業したいという人もいる • 地域の雇用は大切な要素 	<p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 口コミが大切 <ul style="list-style-type: none"> • 母親の集まりで口コミ • 同じ職場口コミで ● 坂地区でB級グルメ <ul style="list-style-type: none"> • 坂地区ブランドポテチ • 坂地区ロゴ ● チラシでPR <ul style="list-style-type: none"> • 産婦人科・スーパーにチラシを貼る • 公民館に貼ってもらう • ママ友への地道な活動 ● プロモーションビデオ <ul style="list-style-type: none"> • 富士山背景に YouTube ● テレビ・SNSの活用 <ul style="list-style-type: none"> • テレビの放映を (NHK) • SNS ● 古民家ツアー (空き家活用) <ul style="list-style-type: none"> • 古民家を活用した民泊。 • 空家、古民家のツアーを計画しては？ 		

地域の特性を踏まえた「自分の身は自分で守る」ための行動チェックシートを自治会ごと作成し、住民に周知する。

目的
(何のため?)

- いざという時のために (災害時に備える)
- 自分がすべきことの確認 (地区によって事情が違うので自分の場合をよく確認しておく)

どんな単位で作るか?

自治会ごと

- ・最終的に集まる場所を決める
- ・中心となる人がシートをつくる。誰がやる?
- ・作ったら自治会に相談

どんな災害を想定するか?

災害の種類

- ・様々なシチュエーションの想定
- ・山崩、土砂災害、道路寸断
- ・道路の分断が心配
- ・災害の大きさによっての行動が分からない
- ・雨量の事前チェック!
- ・1時間ごとに雨量をチェックすることにした

時間帯

【昼】

- ・皆がバラバラ
- ・学校へ引き取りに行くべきか否か

【朝・夜】

- ・みんなが揃っている

対処すべき課題

<災害前の対策>

- ・まずは家庭から。家族内で話をしておく
- ・家族に要支援者が2人いるのでまずその対応
- ・要支援者の把握
→組単位であればわかる
→三ツ谷の民生委員が作った名簿を自治会へ提供

自分の地区で各自がやるべき対策を
考えてみよう!

- ・学校に食糧がない →個人持ちの防災食の準備



- ・今年の夏、サンプルを参考に作成した
- ・錦田中…生徒2日分の防災食等を準備済

- ・学校ではフェアキャストを使っている
→地域の方も小中学校の対応を知って欲しい

■近所の情報共有

- ・近所の住民の人数、年齢等の把握する(個人情報の問題どうするか)
- ・隣の人に声をかける
- ・自力で避難出来ない人を近所で知る
→組の中で情報共有

■備蓄品の準備

- ・各戸に食糧、水の備蓄
- ・期限切れになる前に交換する

チェックシートのサンプルを
作ってみよう!

●災害前後のチェックシートが必要

- ・チェックシートを誰が持つか決める
- ・各家庭ごとに持つ?

●災害前シート

- ・崩れやすい所
- ・食糧の備蓄
- ・小中学生がいる人に聞いて欲しい

●災害後シート

- ・フローをどのくらい用意するのか
- となり組で把握シート
・人工透析の人が心配

●フローチャート方式で作成してはどうか

作成後の対応

- ・要支援者の名簿の内容の確認
- ・災害が起こる前から家具の固定等、対策しておく
- ・訓練をしてみてもどうか
- ・周知には21人いる消防団を使って欲しい

【前提】

自治会ごとに状況・対応が異なる

高齢者の避難方法や避難所での対応を検討しておく。

目的

●高齢者の命を守る

●防災を学ぶ

●高齢者を把握する

現状で決まっていること

高齢者の避難方法

- 決まっていない
- どうしたらよいかわからない
 - ・避難方法を市から教えて欲しい
 - ・寝たきり、体が不自由な高齢者をどのように避難させるか？
 - ・黄色いハンカチは市が配布するのではなく、地域で買う物

課題

- ・個人情報の問題
- ・人数に限りがある
- ・昼間は高齢者しかいない
- 状況が違うので自治会ごとに決める
 - ・坂地区は小さな集落がたくさんあって離れている
 - ・地域特性に合った避難方法を考えたい
- 道路が使えるかどうかが大切
 - ・道路が使えるか、自転車か使えるかが問題
- 安否確認は黄色いハンカチ
 - ・黄色いハンカチを活用する

解決策

- リヤカーの準備
 - ・ノーパンクタイヤが良い
 - ・リヤカーは市の補助金がある
 - ・(道路が通れば) 軽トラで運ぶ
- 地域ごとの高齢者名簿づくり
 - ・地区ごとに高齢者のいる家の名簿を作った方が良い(近所の範囲)
- 笛・ブザーなどの活用
 - ・笛を活用したらどうか？
 - ・ボタンを押したらブザーが鳴るなど
- 高齢者のタイプ別に考える
 - ・高齢者の状況も違うので、タイプ別に考える

まずできること

- ・地域の方を把握しておく
- ・安否確認の方法を確認しておく

- 近所や自治会で対応
 - ・民生委員ではやりきれないので、自治会の役員に協力して貰う
 - ・近所同志の声掛け
 - ・各組単位の確認

自治会で話し合おう！

避難所での対応

- ・体育館の中で地区ごとに使用できる場所が決まっている
- ・各地区に一時避難所がある
- ・自治会によって簡易トイレがあると所と無い所がある

- ・ケガの処置、トイレの確保が課題
- ・各地区の公民館は耐震性が怪しい…

- ・市の補助金の活用(簡易トイレもOK)
- ・公民館の耐震補強

●各地区で集まる場を決める

- ・坂小に来れなければ、各地区に集まる場所を決める。
- ・公民館や新しい家など、各地区で集まる場所を決める。
- ・一時避難所で安全を確保する

<避難訓練の実態>

- ・炊き出し後皆でシート敷いて食べる
- ・起震車 ・スモークハウス ・消火器の確認
- ・おんぶ紐が有効じゃないか。
- ・人数確認。何棟何人。何組何人

- ・おむすびは1つずつラップで握る
- ・消火栓の確認・防災倉庫の備蓄品の確認
- ・おんぶする訓練
- ・管理トイレを設置 ・中西夜中避難訓練

<消防団はマニュアルに従って行動>

- ・消防団は、震度5強以上だとマニュアルに従って行動する